

2023年6月16日

各 位

上場会社名 東 洋 建 設 株 式 会 社  
代 表 者 代表取締役専務執行役員 戴下貴弘  
(コード番号 1890 東証プライム)

**議決権行使助言会社（GL 社）のレポートにおける  
当社提案の取締役・監査役候補者全員に対する「賛成推奨」について**

当社は、議決権行使助言会社である Glass, Lewis & Co., LLC（以下「GL 社」といいます。）が、2023年6月27日開催予定の当社定時株主総会に付議された議案についてレポート（以下「GL 社レポート」といいます。）を発行し、当社が提案する取締役・監査役候補者全員に対して「賛成推奨」し、Yamauchi-No.10 Family Office（以下「YFO」といいます。）が提案する同候補者全員に対して「反対推奨」を行ったとの情報を確認いたしましたので、当社株主の皆様のご参考のためにお知らせいたします。

GL 社レポートについては、グローバルに議決権行使に関する助言を行っている GL 社が、当社から独立した立場から議案について分析したうえで、「当社が提案する取締役・監査役候補者の構成は当社株主の皆様にとって重大な懸念はない」という結論に至ったものと理解しており、当社取締役会の考え方が全面的に支持されたものと受け止めております。

GL 社レポートにおいては、①当社が自主的に取締役会の体制を刷新しようとしていることは株主にとって望ましいものであること、②当社が提案する候補者は良くバランスがとれた経験と専門的知見を有していること、③当社の社外取締役候補者の独立性は不十分である等の YFO の主張に関する証拠は不十分であること、④当社の前事業年度における売上高の増加、利ざや、収益性はほとんどの同業他社よりも優れており、かつ、YFO 提案が行われた後、本邦の建設・エンジニアリング業界の市場価値は上昇しているにもかかわらず、YFO 提案は、約 14 か月前に提示されて以来、一切の変更がなされておらず、現時点においては、当社株主の皆様に対する説得的なエグジット・バリュートはいえないこと、を主な理由として上述の推奨が行われており、当社株主の皆様にとっても有益な情報と思われることから、本プレスリリースを通じて広くお伝え申し上げる次第です。

当社株主の皆様には、当社取締役会の見解へのご理解を賜りますよう、また、当社が提案する取締役候補者・監査役候補者の選任にご賛成いただき、当社の中長期的な企業価値及び株主共同利益の最大化に繋がる最適なガバナンス体制の構築と当社新中計及び株主還元方針へのご支援をいただきますようお願い申し上げます。

以上